

2023年7月19日(水)第三水曜祈祷会
コリント人への手紙第一10章14～33節
「すべて神の栄光を現すために」

背景：

パウロは10章で偶像礼拝と飲食の問題を記す。最初にイスラエルの先祖の出エジプトの恵みを、バプテスマと聖餐を連想させることで、イスラエルと教会は同じ恵みと責任を与えられていることを示した。彼らの大部分は、神の民でありながら、悪を貪ったゆえに荒野で滅ぼされてしまった。これらのことは、私たちを戒めるための実例である。あらゆる偶像礼拝に気をつけなければならない。

本論：

1. 「偶像礼拝を避けなさい」(14～23節) *コリントの人たちは「賢い人」だと自称していた。

①「偶像礼拝を避けなさい」とはどういうことですか。

→

②聖餐式で表していることは何ですか。

→

③パウロは偶像にささげた肉はどういうものだと言っていますか。

→

④悪霊にささげられたことを分かっているながら、それを食べることは何を意味していますか。

→

2. 「隣人のために、神のために」(24～33節) *信仰の強い人は弱い人を配慮すべき。

①「自分の利益を求めず、他の人の利益を求めなさい」とはどういうことですか。

→

②「地とそこに満ちているものは、主のもの」とは何を意味していますか。

→

③だれかが「これは偶像に捧げた肉です」と言った場合、どうするべきですか。

→

④「神の栄光を現す」とは具体的にどういうことですか。

→

⑤パウロが31節の言葉を、自らも実践するのは何のためですか。

→

【適用と分かち合い】

①偶像礼拝とはどういうものですか。聖書はどうしてそれを禁じているのですか。

②聖餐式で「ふさわしくないままでパンを食べ」とはどういう意味ですか。

③「食べる」「食べない」だけでなく、誤解を招きやすい行動とはどんなものがありますか。

④私たちはいつ、何のために、どうやって神の栄光を現すことができますか。